

軽井沢番所跡 (かるいざわばんしょあと)

所在地 宮城県加美郡加美町字漆沢軽井沢

指 定 加美町指定史跡 昭和 55 年 10 月 27 日

概 要

軽井沢番所は、仙台領より他領に通ずる境界 27 ヶ所の内の一つに数えられています。

この番所は宮城県境半森山の麓に位置し、寛永 5 年（1628）に開所されたと記録されています。当初歩卒 2 戸が置かれていましたが、後に交通の要衝として栄えたところから、明暦 2 年（1656）11 人に増員され、番所として重要な役割を果たしました。冬期間の 10 月から 3 月までは門沢に番所が移されました。明治 2 年（1869）廃止されました。

番所とは、当時国境に多く設けられ、槍や鉄砲などの武器を備えた足軽が常駐し、抜け道を通して関所破りして密馬・密物を行うものを捕らえたり、他領の者の山林盗伐を監視する役目がありました。

半森山山頂には関所破りをする者を見張る遠見場がありました。番所の建物は北向きで縦 6 間、横 3 間半の比較的小規模なものです。半森山中腹には足軽たちによって白山神社が祀られ、立派な鳥居もありましたが崩壊し、その残骸が散乱しています。また麓には墓地が数ヶ所に点在し、多くの墓石が見られます。

